

# 足利市の中学校英語教育における JETの役割について

## *Role of ALT in Ashikaga's Middle School English Education*

*Todd Freitag*

私はALTとして足利市にきて8カ月がたちました。まだ、日本語はよくできませんが、自分自身の勉強のために、この論文をできるだけ日本語で書いてみることにしました。

### 1. 過去, 現在, 未来

教育はいつも変化しています。だから教育はいつも新しい考えを取り入れなければなりません。特に外国語教育の変化には注意を集中するべきです。

英語教育は教えることが難しいとされています。だから日本の英語の先生は準備や予習や事前研究などを本当に大切にします。しかし、英語の教え方とほかの学科の教え方はかなり違います。

英語の教え方は二つありますが日本ではそのうちの一つである文法翻訳法 (Grammar Translation) を多く使っています。しかしコミュニケーション法 (Communicative) はあまり使っていません。両方ともいい点がありますが翻訳法の方が一般的です。コミュニケーション法はたくさんエネルギーと創作力と時間が必要です。アメリカではコミュニケーション法を多く使うので、私はCommunication法がいいと思います。もし両方とも使えばもっと効果的だと思います。

### 2. 鉄は熱いうちに打て

JET (自治省・文部省) によると、ALT (英語指導助手) の任務は英語教育にいろいろなコミュニケーションの指導法を紹介することです。もう一つの目標は国際化することだと思いますが、私にはまだよく分かりません。しかし私たちALTは英語指導のアイデアとともに、必然的に、そして自然と外国人の文化と習慣についても紹介することとなります。日本と外国は違います。協力と文化の交換はできると思います。

英語の授業は他の教科とはちがいます。英語の指導の中にはアメリカやイギリスやの習慣や文化や考え方などの学習もふくまれているので英語を教える時はこの点に留意しなければならないと思います。

英語教師にとって私たちの考えを全て受け入れることは難しいと思いますが、参考にすることは絶対必要だと思います。コミュニケーションの教え方はかなり難しくても無理ではありません。コミュニケーションの中では種類が四つあります。それは文法の (grammatical), discursive, functional, strategicです。中学校ではこれら四つのことがあまり使われていません。文法だけはたくさん使われています。それは問題だと思っています。これは私の個人的な意見です。

英語を教えるためには文化と習慣を知らなければなりません。言語は文化を反映しています。分けて考えることはできません。だから英語を教える時に文化が一番大切だと思います。

日本の現在の英語教育のためには少し指導法を変化させてみるのもいいと思います。それで「acquisitionとlearningではどちらがいいか」の問題があります。英語教育では acquisitionのほうがいいと思います。人間は自然に誰でも acquisitionで母国語を学びました。ゲームは acquisitionです。文法翻訳は learningです。両方ともいいですがコミュニケーションと acquisition どちらも学習するチャンスがあったら授業はもっと効果的になれると思います。私は、JTEは授業中に英語をもっと話せば一番いいと思います。私は県のALT研修会でALTがいない英語の授業を見せてもらったことがあります。その時にJTEは50分授業のうち45分以上は日本語だけでした。英語はわずか5分でした。授業中にどんどん英語を使えば使うほど子供達は英語を習うチャンスがたくさんあると思います。

*My Japanese ability is very limited. I am sorry. However, I would like to say a few things in English. English Education's success is determined by the level of cultural and communicative understanding of its teachers. A rudimentary understanding of a language does not mean that anyone knows a language. Grammar only makes up a small part of language. Language has thousands of dimensions. All are valid. All are worth investigation. According to the Monbusho, the JET's role is to bring these various dimensions of communicative understanding to Japan's English Education. Also, probably most importantly, the JET's position in the Education system is to intergrate ideas through TEAM TEACHING. Often this team teaching deteriorates into simple game play. Games should never be surrogate to preparation. Team teaching should be a sharing of duties, ideas, and preparation.*

*Japanese English is very static. Real language is never static. Language is always infinitely dynamic. Language is culture. Language is not black and white, right and wrong. It is a fluid, not a solid. The English classroom is probably the most challenging arena in modern education. It takes a terrible amount of energy and preparation to teach effectively. English Education devours time, yet it can be one of the most rewarding experiences in the lives of both teachers and students.*

*In the classroom three criteria must be met: (1)English must be spoken, (2) newness of materials and ideas must be punctuated, (3)and finally, culture must never be backgrounded, nor the awareness of language as a process and not a statement displaced.*

*Sharing is the key... yet I am a fool for hope.*